

令和6年度 外来における在宅療養支援能力向上のための研修実施要項

1. 研修目的

- 1) 外来看護職が講義及び演習によって、地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
- 2) 習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実践することができる。

2. 学習目標

- 1) 講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。
- 2) 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる。
- 3) 1)及び2)を踏まえて、演習によって、在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる。

3. プログラム

時間	方法	内容	講師
40分	R6.9.20(金) ～ 講義1 (eラーニング)	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく 外来看護職の役割	吉川久美子 (日本看護協会)
40分	講義2 (eラーニング)	外来における在宅療養支援	永田智子 (慶應義塾大学)
40分	講義3 (eラーニング)	在宅療養を支える地域連携とネットワーク	吉田千文 (常磐大学)
40分	講義4 (eラーニング)	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援	藤井淳子 (東京女子医科大学病院)
40分	講義5 (eラーニング)	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源	松本明子 (聖路加国際病院)
150分	演習 R6.12.14 (土)13:30～ 16:00	講義:地域の現状や自施設を取り巻く状況等について(20分) グループディスカッション:事例検討(130分) 全体共有	県看護協会長 ファシリテーター 県看護協会

4. 対象者

- ・ 外来勤務の看護職員
雇用・勤務形態は問わない

5. 定数:30 名

6. 受講料(税込み)

会員:3,300 円 非会員:9,900 円

*事前払いとなります。

お支払いは、お申し込みされたメールアドレス宛にメールでご連絡致します。

7. 申込み

高知県看護協会ホームページ「教育・研修」➡I 外来における在宅〇〇研修➡申込書をダウンロードし必要事項を入力後メールにてお申込み下さい。

メールアドレス:kensyu@kochi-kangokyokai.or.jp

メール件名 : I 外来看護職員研修

8. 申し込み期間 7月20日(土)~8月20日(火)

9. 研修方法

本研修は、①講義 1~5(e ラーニングコンテンツの視聴)、②事前課題、③演習で構成されています。

1)講義1~5(e ラーニングコンテンツの視聴)

個別研修として、個人で演習実施日までに日本看護協会が配信する e ラーニングコンテンツを視聴する。

- ・視聴期間:9月20日(金)(予定)~令和6年11月29日(金)
- ・講義時間:200分(40分×5本)
- ・視聴終了後に受講確認表^{別添2}を県看護協会へメール又は郵送で提出する。

提出期限:令和6年12月3日(火)

メールアドレス:kensyu@kochi-kangokyokai.or.jp

件名: I 外来看護職員研修

2)事前課題

- ・講義 1~5 を受講後、以下のいずれかのテーマで課題を県協会へ提出する。
 - ①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
 - ②外来看護に関する実践事例
 - ③外来における療養支援について自身が感じている課題
- ・事前課題の内容は、原則、①及び②とするが、外来看護の経験が少ないなど、事例の記載が困難と考えられる場合には、①及び③とする

提出書式：別添 3 事前課題記入用紙(A4 用紙 1～2 枚にまとめる)

提出期日：令和 6 年 12 月 3 日(火)

提出方法：郵送またはメール

メールアドレス：kensyu@kochi-kangokyokai.or.jp

件名：I 外来看護職員研修事前課題

3)演習

開催日時:令和 6 年 12 月 14 日(土)13:30～16:00

場 所:高知県看護協会

方 法:集合

☆e-ラーニング受講システムより発行された講義1～5(e ラーニングコンテンツの視聴)受講証明書を演習日に必ず持参する。

10. 修了証の発行について

e-ラーニング・事前課題・演習全て修了した方に修了証を発行します。

連絡先：公益社団法人高知県看護協会

〒780-8066 高知市朝倉己 825 番地 5

担当 吉永 恵子

TEL：088-844-0678

e-mail：kensyu@kochi-kangokyokai.or.jp

氏名： _____

受講期間： ●月●日～●月●日

受講必要時間：200分

内容	受講日
講義 1 外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割	
1) 外来看護を取り巻く環境の変化	●月●日
2) 外来医療に関する政策動向	●月●日
3) 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	●月●日
講義 2 外来における在宅療養支援	
1) 在宅療養支援とは	●月●日
2) なぜ在宅療養支援が必要か	●月●日
3) 在宅療養支援を担う看護職の役割	●月●日
講義 3 在宅療養を支える地域連携とネットワーク	
1) 地域連携とは何のためにどうすることか	●月●日
2) なぜ外来看護職員は地域連携をする必要があるのか	●月●日
3) 外来看護職員の立場で考える地域連携の方法	●月●日
4) 外来看護職員として地域の連携ネットワークをどのように作り、発展させるか	●月●日
講義 4 在宅療養患者（外来患者）の意思決定支援	
1) 意思決定の現状と課題	●月●日
2) 外来看護職に求められる意思決定支援	●月●日
講義 5 在宅療養患者（外来患者）を支える社会資源	
1) 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識	●月●日
2) 地域における多職種連携・協働の実際と推進の必要性	●月●日

受講開始日： ●月●日

受講終了日： ●月●日

本受講確認表は、12月3日までに
研修担当者吉永まで提出してください。

事前課題記入用紙

所属先： _____ 氏名： _____

臨床経験年数 _____ 外来経験年数 _____ 役職 _____

演習日： _____

- ※ 事前課題は、講義 1～5 の受講をすべて終了した後に取組んでください。
- ※ 本用紙は、年 月 日までに提出してください。提出方法は郵送またはメール。
★本用紙は、演習実施日に持参してください。
- ※ 記載方法は自由です。パソコン、あるいは手書きいずれの方法でも構いません。
- ※ 事前課題は原則 1. 及び 2. としますが、事例の記載が困難な場合には、1. 及び 3. としても構いません。

1. 地域における自施設の役割と、外来看護職として自らが担う役割等について

2. 外来看護に関する実践事例
(これまでに感じた困難事例や工夫しながら取組み看護介入できた事例等)

3. 外来における療養支援について自身が感じている課題